

いつもありがとうございます。きしゅう会計の名倉です。前号で、暑い！暑い！と書いたばかりなのに、すっかり季節が変わり、秋の香りをお届けすることなく、すっかり冬の匂い。季刊誌でもおっつかないぐうたらぶりですね。でも今回は公休なんです。



実はとんでもない失敗をしてし

まい、3週間ほど入院していたのです。今は普通に仕事をしていますので、このまま何も報告しないでおこうかなとも思ったのですが、僕の失敗は誰



でも起こりうることなので、ここでお伝えすることで、一人でも未然に防ぐことができれ



脳出血を発症！

幸いにも切れた場所がよかったようで、こうして、かわら版を書いているのですが、もしかしたら、前回の vol.41 で終了していたかも知れなかったようです。何故、そんな事態になったのか、をお伝えします。最初に結論を書きますが、完全に僕のミスが原因です。ご存じの方も多いと思いますが、ここ7、8年ダイエットから始まり、マラソン～トライアスロンまで、アスリート活動を続けていました。もともと血圧の高かった僕は、身体に負荷をかけるので、必ず毎日降圧剤

を飲んでいたので、ここ2年ばかり、あんまり走らなくなり、またお酒も控えていた時期もあり、1か月分の降圧剤を貰って、2か月もたせ、次は3か月持たせと勝手に間を空けることがエスカレートしていき、最終的には1年前から、降圧剤を飲まなくなっていました。そして最後の方には降圧剤を飲んでたことすら忘れていました。



そして、少し丸くなった身体は、ジョギングだけを思い出させたのです。血圧を測ることもなく、降圧剤を再開させることもなく走り出した身体は DANGER のサイレンが鳴りっぱなしだったはず。でも、それは本人にはとてもサイレント。全く聞こえませんでした。Xデーは9月6日。東京出張の時でした。朝5時30分。皇居ジョグ。



その際は無事だったのですが、10時からの会議に参加。議長を務めることになっていたのですが、開始10分前、もう一度資料の確認をしている時に異常が！資料は明確に見えるのに、頭に意味が入らない(こんな経験は初めてです)前日にも資料は読んでいたので、なんとか会議は終わらせましたが、これはただ事ではないと午後からは欠席させてもらい、タクシーで病院へ。ここまで、痛みも吐き気も眩暈も全くなし、でも病院についた時には、



もうふらふらだったようで、そこからは、あまり覚えていません。ドクターに「緊急の場合の連絡先は」と聞かれて、嫁の携帯番号を書いたのは覚えてますが、気が付くと次の日。嫁と二人でドクターの話聞いていました。2日連続でMRIを取り、出血が止まっていることを確認できたので、「明日は台風も来るし、今日帰りますか？」とドクター。「えっ、そんなもんなの？」と不安もありましたが、ドクターが言ってるし、歩けるし、頭も痛くないし、「それではそうします」と嫁と二人、新幹線、はるかで関空へ車を取りに行き、嫁の運転で帰宅。なので、そんなに重たいものではないと思

い、御坊の病院では、「入院しません」と告げて自宅療養に。「1週間くらいで治るのでは？」なんて安直に考えてました。でもそこからが大変。頭は痛むし、咳は止まらないし、寝れないし、と結果5日で再度病院へ、そして入院。リハビリも開始。そこで、話す、聞く能力の劣化はほとんどないけど、目から情報を入れる能力と、それを加工する能力が極端に落ちていたことを知りました。目は見えているのに、解像度が落ちていんです。リハビリ(おそらく認知症用かな)で、人物の写真が5枚並べられ、「美空ひばりはどれですか？」の質問に答えられないのです。「佐藤栄作はどれですか？」の質問



には「ノーベル平和賞は出てきても、顔は出てきません。僕らの世代ではもともと知らんよ、佐藤 B 作ならわかるんだけど(笑)」唯一分かったのが「西郷隆盛」。濃い顔だから、解像度が低くても分かるんでしょう。また、解像度が低いと、人の年齢が分からなくなるんです。2枚並べた写真で、「どっちが若いですか？」といったリハビリもありました。細かなしわや、ほうれい線の感じが分からないからでしょうね、みんな若く見える訳です。この話をお客さんの女性社長にしたところ、「それはいい！」と喜んで頂けました(確かに Win-Win かも 笑)。今はだいぶ解像度が上がってきた感じですが、まだ元通りではないですね。もし、街で名倉を見かけて、会釈も愛想もなく、すれ違ってもお許しください。まだちょっと分からないかも知れませんが、症状は軽いとはいえ、一時はそれなりに大変だったのですが、脳の病気は、悲観できるほど頭が回らないので、僕は不安を感じることはなかったのですが、リハビリを横で見ている嫁はさぞ心配しただろうと思います。(ごめんね)。3週間入院している間、時間がたつぷりあったので、今までの人生の振り返りができました。整理すること、反省することが沢山あり、きつとご先祖様がこのタイミングで考える機会をくれたんじゃないかと、思ったりして



います。また、お見舞いに来てくれたクライアントの社長が、「名倉はん、一回死んでるんやで、もう一回命貰ったと思って、がんばりなよ！」との言葉を頂きました。もう一度貰った命。「時間って命のかけらなんだなあ」としみじみ思い。今後の人生、感謝の気持ちを大きくもって、より大切に生きようと思います。きっとここから一病息災の人生になるのです。いやするのです。飲まないといけない薬を自分の勝手な解釈で飲まず、大病を患ったわけですが、結果は今必要だった経験だったように思います。もちろん、残念なこともありました。



闘病中、開催されていたラグビーワールドカップ。日本全国、桜ジャパンに沸いていたようですが、解像度とともに



奪われていたのが、スピード感。画面の早い動きについていけないのです。見ていても臨場感がなく楽しめなかった。これはちょっと残念でした。そうそう、ワールドカップといえば、CM で時々耳にしていたテーマ。曲名がずっとわからずもやもやしていたのですが、僕の病気のため実家に戻ってきている娘と先日出かけている際、「今流れているこの歌なんて曲？」と聞いたところ、「知らない、米津っぽいな、、、ちょっと待って、やっぱ米津やわ、『馬と鹿』だって」「えっ、どうやって調べたん？」と聞くと、曲を調べるアプリがあるとのこと。



「Shazam」スマホでマイクをオンにして流れている曲を聞かせるだけで、曲名が分かるという。試してみると、すご！なんでもあるもんだと感心。

また、娘曰く、「自分で鼻歌で歌って検索できるアプリもあるよ」と「歌っちゃお検索」も教えて貰いダウンロード。音痴な僕は、不安からか、まだこれは試しておりません(笑)ん、あれ、「馬と鹿」、今調べると、これは池井戸潤原作のドラマの「ノーサイドゲーム」の主題歌なんですね。ワールドカップのテーマ曲ではなかったんですね。ともあれ「馬と鹿」。東京のドクターにも、御坊のドクターにも言われたのが、この「馬と鹿」(笑)



「今はいい降圧剤があるから、それを飲んでたらこんなことにならないのに、馬と鹿やなあ」と(笑)。何の目標もなく、リスクにさらすのは、単なるそのものですね。ドクター曰く、脳出血の発症数は近年減少しているそうです。(その反面詰まる方、「脳梗塞」は増加傾向にあるそうです)。血圧に不安のある方は降圧剤は必須アイテムです。



さて、僕の馬鹿な失敗話はこのあたりで終わります。ここからは入院中に考えたこれからの方向性について、少しお話したいと思います。そう、ここからは賢いお話です(笑) 病気になり思ったことは、「命は自分だけのものではないということ」。もし、運が悪ければ、きしゅう会計御坊事務所は終了していたのです。お客さんに迷惑をかけ、スタッフに迷惑をかけ、もちろん家族にも。そうならないように健康に気を付けることを心がけます。それときしゅう会計は何をする事務所かを明確にしました。「みなを幸せにする事務所、問題を解決する事務所」を目指します！

「幸せ」の定義は難しいですが、ユダヤの教えにこんな言葉があります。「人を傷つけるものは3つある。悩み、いさかい、空の財布。そのうち空の財布が最も人を傷つける」



潤沢な資金があれば、経営の悩みも大きくなならない、いさかいも起こりにくい(それはそれで問題かな)ということでしょうか。

なんとなくもみ消された感のある年金2000万円不足問題。どのように解消すればいいのか、先日YouTube で経済評論家の森永卓郎氏の動画を見たのですが、日本という縛りを持たず、個人でもグローバルに資金運用を考えないといけない時代になっていると話されてました。



俗に言われる「72 ルール」。これは 72 を金利で割った数が、元金が2倍になるまでに掛かる年数になるという内容。例えば金利が2%だと、 $72 \div 2 = 36$ 年といった具合です。バブルの頃は定期預金の金利が、7%も 8%もありましたよね。 $72 \div 7 =$ 約 10 年。元本保証で 10 年で倍。今から思えば夢の金融商品でした。でも今は定期預金の金利で 0.2%。 $72 \div 0.2 = 360$ 年。江戸時代の初頭から預けていて、やっとこさ倍です(これはちょっと、家康さんでも待てないかな)。



ところが日本や円の縛りを考えなければ、定期預金はアメリカドルで 8%。南アフリカランドだと 40%。もちろん色々リスクはあるので、飛びつくことは危険です。でも海外投資で儲けている人も多くいるようで、海外に流

れている個人資金は現在3兆円はあるとのこと。上手に情報を取って財産を増やしている人も少なくないようです。実は去年から僕も少しですがやっています。節税も大切ですが、自分の持っているお金に働いてもらうことも大切です。(これは病気になってつくづく思いました。)こんな情報発信もできればと思っています。



それと今の時代、もう一つの大きな悩みは、「人手不足」解決方法のひとつとして注目されているのが、RPA(ロボット・プロセス・オートメーション)これは、パソコンでの作業自体を自動化するというもの。きしゅう会計も現在一部の作業について、RPA の導入を準備中です。会計事務所は2月3月が確定申告のため繁忙期です。最近では電子申告となり、便利になりましたが、この電子申告。送信する時間帯が重なり受付が凄く遅くなる時もあり、また ID、パスワード転記と単純作業。そこで夜中



に自動送信できないものかと、お客さんの業務効率化大好き M 君に開発を依頼。ノウハウを蓄積して、M 君と一緒に、クライアントの業務改善ができればいいなと思っています。RPA を始める際、彼に聞かれたのが「きしゅう会計の売上は5億以下ですか？」でした。彼の見つけてきた RPA のソフトはアメリカでシェア3位の UiPath。年商5億円以下の事業所では無償で使用できるとのこと。きしゅう会計 RPA プロジェクトは「あるわけないやん！」の僕の声が号砲となりスタートしたのです(笑)。海外投資や、RPA ご興味あればお問合せくださいね！

